
Code: CSJ-CaseFiles-PMP2022-Alpha

特例事件資料ファイル《PMP 案件》

— 2022 年・広域連続女性失踪に関する一連記録 —

【機密区分：B-1 | 特別捜査本部内限界公開】

【機密保持事項】

- ・本資料群は、特別捜査本部の中でも一部承認者のみに閲覧が許可されています。
- ・ファイルの存在自体が秘匿対象となり、持出・複写・二次記録・言及いづれも禁止されます。
- ・違反時は公安監察対象となるほか、隊内処分および査問の対象となります。

作成・統合管理：警視庁 特別捜査本部(第一課・警備部共同)

統合時刻：2022 年 6 月 1 日 午前 03:45 現在

この物語はフィクションです。
実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。

主文書一覧

・CSJ-IntPrep-AudioLog01

—心理分析官接触に伴う非公式会話録音 … p 3

図表 1-A/B：被疑者・市原聖 拘束時撮影画像/事情聴取監視カメラ画像(参考) … p 8

・報道記録

2021 年 10 月 5 日(火)東日報 朝刊

記事記録『群馬山奥の廃墟で女性遺体、絞殺か 京都府の行方不明者と判明 … P10

2021 年 10 月 10 日(日) 11:55～13:55 KHT「デイキャッチ！」

『群馬の廃墟で 2 人目の女性遺体“絞殺と自殺 争いの痕跡”に困惑広がる』 …P12

2021 年 10 月 12 日(火) 23:15～23:45 FTV「ナイトフォーカス 23」特集

『沈黙の山中 4 年前の失踪者を保護 群馬の廃墟で何が起きていたのか』 …P15

2021 年 10 月 17 日(日) 10:00～11:30 NNT「フロンタライン SUNDAY」

『※番組内容を変更してお送りします【特別編成】群馬連鎖失踪事件

【速報】警視庁・群馬県警による“再捜査”開始 失踪事件は今、重大事案へ』 …P18

・閲覧記録

心理分析官■■■■氏 公式 web ページ抜粋

「講演・出演依頼のご案内」 …P25

・004-CSJ-NetMon-TraceLog20220403

—ネットモニタリング記録抜粋

6ch 投稿『【緊急】謎の誘拐音声流出ガチでヤバいんだが Part7』 …P29

・CSJ-Intelligence-Memo20220404

—分析チーム C(通称:Trace Team)による捜査分析班内報メモ(未提出) …P33

- ・ CSJ-NewsFlash-TX20211027
 ― 報道特別体制放送 書き起こし資料
 『臨時ニュース速報書き起こし | 2022 年 4 月 13 日(水)17:43～』 …P35

- ・ 2022-MH-0012
 市原聖 鑑定留置調査報告書 (東京都立第三精神鑑定センター) …P39
 2022-MH-0013(別添資料)
 「市原聖 職歴・資産背景・受賞歴など」 …P47

- ・ CSJ-WitRec-INT-01 【聞き込みの記録・提供画像】
 『容疑者・市原聖に関する人物評・接触履歴の聞き取り (一次資料)』
 ※通学歴に基づく関係者(同級生・担当教諭等)より証言抜粋 5 名 …P51

- ・ CSJ-MediaCut-Article02(報道資料／抜粋)
 『週刊文真』2022 年 4 月 21 日号 緊急スクープ 16 総力特集
 「聖なる怪物 連続誘拐犯・市原聖『疑惑の家系図』を全暴露！」 …P60

- ・ CSJ-Int-023
 ― 心理接見実施条件提示書 【内部処理記録】
 『被疑者・市原聖との初回接見に関する実施条件の要望・条件提示書』 …P61

- ・ CSJ-IntPrep-AudioLog02
 ― 特例対象：容疑者接見準備における現場担当者間 非公式会話録音 …P63

- ・ 002-PMP-PoliceConf-TKY20220531
 ― 件名：市原聖容疑者の逃亡に関する警視庁対応会見(全文) …P71
 ※被疑者映像 No.01・No.07 …P77

- ・ CSJ-OpDirective-TaskForceOrder01
 ― 極秘動員命令書 【Op.BACKROOM(仮)】
 市原 聖(IC-0226)に係る特例案件 民間人高脅威対象・極秘警護任務 …P79

Code: CSJ-IntPrep-AudioLog01

— 特例対象：心理分析官接触に伴う非公式会話録音 —

【機密区分：C-2 | 隊内限定公開】

【記録情報】

録音日時：2022 年 5 月 8 日(09:48～)

録音場所：山荘付近 仮設指令テント内(関係者控室)

話者：A(警視庁特捜部・上席捜査官：八木)・B(同・現場主導 若手捜査官：北宮)

※階級・所属・氏名：声紋照合により特定

■ 録音内容(書き起こし)

(書類を封筒から取り出す紙音と思われる音)

A：「……おい、いい加減にしてくれよ。証明写真一つまともに撮れないのか？」

(ピシャッと書類を放って置くような音)

A：「あのオンナ先生、界限じゃ堅物で気が強いつて有名なんだろう？

こんな写真見せたら何言われるか……。真っすぐ立ってすらいねえじゃねえか。

ドヤされるのは、俺らだぞ？

ただでさえ、コソコソ民間にケツ拭かせて肩身が狭いつてのに。」

B：「……っ。(言葉を飲み込む)」

(少しの沈黙)

A：「……はあ。(深々としたため息)

……こんな話させるなよ、ただでさえ苛ついてんだから。」

B：「すみません……それが、全然ダメでして……。

いろんなタイプの担当をあてがってはみたんですけど、

誰も歯が立たないっていうんです。脅しても効かない、懐柔もされない。

唯一反応するのが“裏取引の匂わせ”だけで……。」

B：「……でもそれじゃあ、アイツの思うツボじゃないですか。

かと思えば、小学生みたいにふざけて。まともに写真も撮らせない。

何考えてんのか、さっぱりですよ。」

A：「考えてることなんか一つしかないだろう。

俺らが今日ここでこんな話して揉める羽目になってる——これがその証拠だ。」

(深々としたため息)

(しばし沈黙)

A：「……結局これ、何枚撮り直したんだよ。」

B：「憶えてません。馬鹿みたいに何十枚も撮りましたよ。

うちの姪っ子の七五三写真を撮ってくれた”スタジオ●●●”のカメラマンが如何に忍耐強かったか思い知らされましたね。」

A：「……で、しびれ切らしてちょっと叱り飛ばしたら、これか？ この顔？」

B：「はい。この通り。むくれて、その日は取り調べに全く応じなくなりました。」

A：「(深々としたため息) ……ここは幼稚園か？」

「こんな男が、“奇跡の実業家”とか“カリスマ経営者”だとか持て囃されてよ。

おまけに何だありゃ？『#聖様を救う会』とかなんとか。

本部宛てに差し入れまで届いてんだろ？」

B：「ああ、そういえばもうあっちの倉庫も一杯ですよ。どうします？

手紙に手作りスイーツに……お高いブランド品や香水詰めて送ってきてるのも結構ありましたけど。『辛い思いをしている聖様を思って、私も同じ香水付けてます♡』ってやつとか。」

A：「ほんと……必死こいて被害者探し回ってる俺らへの
当てつけかと思うよな。アイツも狂ってるが、
世の中も壊れてんだよ。完全に。」

B：「拘置所からも連絡ありましたからね。
『こっちに届いている分、一応記録取っときますか？』って。」

A：「適当に記録して、適当に処分してもらえ。
アホの世話までやってられんよ。」

B：「……あ！ そうだ。
市原の幼稚園時代の写真もここに、ちゃんと持ってきましたよ。」
(書類を封筒から取り出す紙音)

A：「あーあー！ いい、いい！ 出すな。
……全部あのオンナ先生に任せるって決めたんだ。」

B：「(苦笑) でも……。■■■警部は最初に言ってましたよ。
『どうせこっちが転がされる』って。その通りになったじゃないですか。」

A：「……まあ、当然、狙いだよ。
こうやって面倒臭くさせて、司法取引に持ち込む。
結局奴は、俺らを望み通り動かした。……こうやってな。」

(書類を封筒へしもう紙音)
(しばし沈黙)

A：(煙草の箱を取り出す／深く吸って吐くような音)

B：「正直、この状態で……。
あの先生を山奥の山荘に連れてくなんて事になったら――。」

B：「……出るとき俺、警部に言われたんですよ。

『どんなにお偉いセンセイであれ時間の問題だ。そう思って準備しとけ』って。
そんな話ありますか？

もし今日、あの先生が俺たちの話に頷いてしまったら――」

A：「(言葉を遮る)言うな。お前は考えなくていい。

そういうのを考えるのは、俺らの仕事じゃない。

……いいな？ お前は、言われたこと”だけ”やってろ。」

B：「……っ。(何かを言いかけ、飲み込む)」

A：「(押し切るように)それから――。あの先生に

『手こずってる』なんて、絶対言うなよ？ 俺は、面倒事は嫌いだ。

プロとして、組織の判断と要求を伝える――。それだけだ。」

(沈黙)

B：「……はい。」

A：「行くぞ。お前、土産忘れんなよ。後ろのやつ。」

B：「……はい。」

(ドアの開閉音)

(しばしノイズ：紙袋などと思われる紙音)

(ドアの閉音)

【備考】※閲覧制限

本音声は2022年5月8日(日)、心理分析官訪問直前の移動車両内で録音されたと推定される。録音対象者の許諾は得ておらず、解析用途での内部記録として保存。

情報区分：非公開(分類：CSJ 案件／音声ログ C 群)

報道記録

KHT「デイキャッチ！」

群馬の廃墟で2人目の女性遺体 “絞殺と自殺 争いの痕跡”に困惑広がる

放送日：2021年10月10日(日)11:55～13:55

局：KHT(関東広域テレビ)番組名：「デイキャッチ！」日曜版

出演者：真壁俊春(MC)・江藤愛音(KHT アナウンサー)・矢代高彦(元刑事・犯罪心理学者)・室井梨月(ノンフィクション作家)・瀬乃さやか(ゲスト・タレント)



【ナレーション】：「群馬の山奥にある廃墟で見つかった若い女性の遺体。今月5日に第一の遺体が発見されたこの場所で、本日10日、2人目の女性の遺体が見つかりました。

警察によると、2人の死亡状況はまったく異なり、一方は絞殺、もう一方は首吊りによる自殺とみられているとのこと。さらに、2人の爪からは互いのDNAが検出されたことも分かり、関係性や事件性を巡って大きな注目が集まっています。」

【映像】：群馬県北部の山中。警察車両が入っていく様子。廃墟の屋根にカメラがズーム。

【音声】：フラッシュ音／記者たちのざわめき



警視庁・大森正典刑事部長（合同捜査本部 代表）：「本日、群馬県警からの通報を受け、過去の失踪記録と照合した結果、“鈴木葵”という氏名が手帳に複数回記載されていたことを確認しました。現在、東京都警と合同で失踪当時の関連捜査を再開しております。」

「……なお、群馬県北部の現場からは、複数の女性の所持品とみられる物品が発見されており、現在、鑑識および照合作業を進めております。」

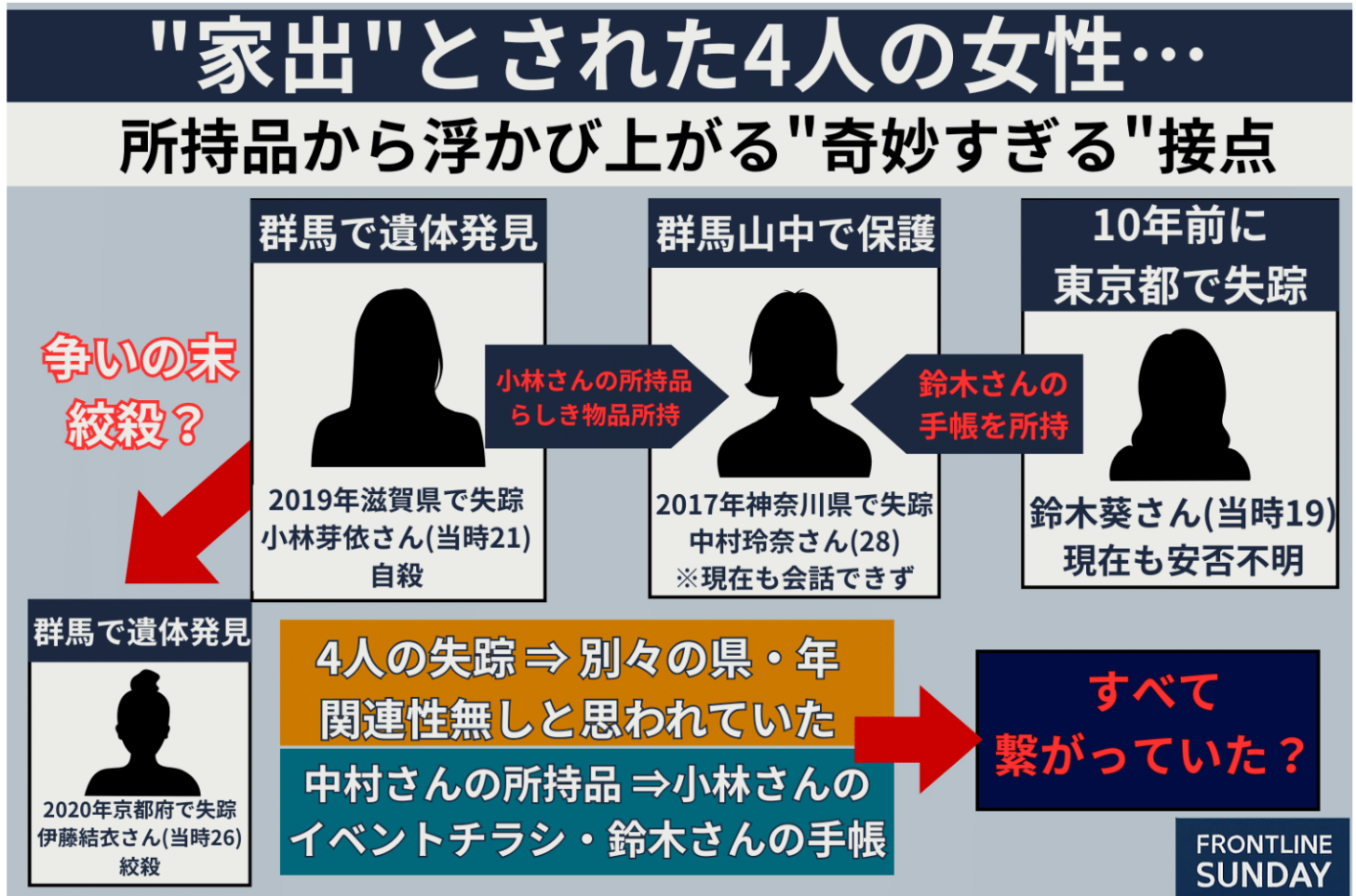
記者 A（白井・報道記者）：「その“鈴木葵”という方ですが、いつどこで行方不明になった方なのでしょうか？」

広報官：「記録上では 2011 年 9 月に東京都杉並区で家族から届出がありまして、当時は“自発的な家出の可能性が高い”として捜索は一定期間で打ち切られております。」

る兆候がみられます。日本の犯罪史の中でも極めて稀なケースでしょう。」

真田：「ちょっと構図が複雑ですので、フリップを使って整理してみましょう。
森下さん。」

【映像：フリップ画像①】



森下：「はい。一体、何が起きていたのか……少し整理してみます。
実は、これらの失踪者を繋ぐ“ある共通点”が浮かび上がってきたんですね。

ご覧の通り、現場で発見された手帳に記されていた名前が、10年以上前に“家出扱い”で処理されていた女性のものと同じという可能性がありますね。
これがもし事実であれば、長期かつ組織的な誘拐・監禁事件だった可能性が出てきます。」

閲覧記録

※以下は、各種折衝前に閲覧された
心理分析官■■■■氏 公式 Web ページの抜粋記録である。
閲覧日時・接続元情報は開示されていない。

▷講演・出演依頼のご案内(公式ページ抜粋)

■ 専門領域

- ・犯罪心理学・行動分析
 - ・司法精神医学・法医学的精神病理
 - ・高知能犯罪・異常心理に基づく加害者プロファイリング
(例：シリアルキラー／性加害常習者／支配構造を持つ犯罪者)
 - ・重大事件における心理動機の解明と犯罪者の分類
 - ・PTSD・記憶障害・共依存関係など、被害者心理の実証的理解
 - ・「声を奪われた被害者」への支援アプローチと沈黙の解釈
 - ・日本と海外（米国・アジア）における精神鑑定・司法支援制度の比較
-

■ 講演・出演テーマ例

- ・「心の闇を読む技術」—— プロファイリングで紐解く“異常性”の正体
- ・「“普通の子”が逸脱する瞬間」—— 未成年犯罪の心理と社会の責任
- ・「サバイバーの沈黙を聴く」—— 記憶障害・解離・共依存の理解と支援
- ・「“異常”というレッテルの向こう側」—— 裁けない心をどう扱うか
- ・「加害のパターンを見抜く」—— 行動分析で危険を予測する実践知
- ・「見えない家庭内支配」—— デジタル依存・SNS を使った“日常型洗脳”の構造

※内容は聴講者の年齢層・専門領域に応じて調整可能です。

中高生・教育関係者から司法・医療専門職まで幅広く対応いたします。

■ 略歴(概要)

静岡県沼津市生まれ。早和田大学にて教育心理学を専攻。

大学時代より、性犯罪被害者のカウンセリングや精神科ボランティアに関わる中で、“言葉を持たない苦しみ”と向き合う必要性を痛感。

卒業後、米国の大学院にて犯罪心理・法心理学を専攻し、司法精神鑑定制度に接する。その後、日本に帰国し、臨床経験を積むべく医大へ編入、精神科医資格を取得。臨床のかたわら、性加害者プログラムや拘置所面談を通じ、犯罪加害者の異常心理に関する実地研究を深める。再び渡米し、FBI アカデミー行動分析ユニット（BAU）にて客員研究員として参加。アジア圏犯罪者の特性と文化的背景の関係性について初の本格調査・講義を行う。

帰国後は、築葉大学大学院・人間総合科学研究科 犯罪心理学専攻の客員教授として教育・研究に携わりつつ、都内を拠点に犯罪分析、精神鑑定、講演活動などを展開。

「被害者にも加害者にも、決して耳を塞がない」

——静けさの中から心の声を掬い上げる分析スタイルに定評がある。

■ 主な実績・協力案件

- ◆2015 年 米国イリノイ州・連続児童誘拐事件の心理分析協力（犯人特定に寄与）
- ◆2018 年 日本国内・連続放火事件にて加害者の認知傾向を分析、模倣犯説を否定し初動修正へ
- ◆旧宗教団体絡みの殺人事件において、支配構造の心理分析を実施（検察側鑑定補助）
- ◆家庭内支配による“感情模倣型虐待”事例の分析（行政研修教材に採用）
- ◆N 国際刑事機構よりアジア圏加害者の文化的犯罪傾向に関するレポート作成に協力
- ※その他、複数の重大事件・司法鑑定・再犯防止プログラムにおいて、警察・検察・児童相談所・国際機関との分析協力実績あり（守秘義務により非公開）

■ 著書(一部)

『心を読む技術 ～プロファイリング入門～』（光壇社・現代論考シリーズ）

『サイコパスの系譜 ～成功者・ソシオパス・愛なき天才たち～

—その境界と才能、そして“失われた哀しみ”の正体』（東都人文社）

『無音の目撃者 — PTSD と“語れない”被害者たち』（日邦出版）

『鏡の中の殺意 — 実録・加害者たちの内面世界』（中央人文社・ラクレ叢書）

※ほか専門誌・インタビュー記事多数掲載

Code: 004-CSJ-NetMon-TraceLog20220403

— 6ちゃんねる投稿監視記録《クローゼット音声流出関連》 —

【機密区分：C-2 | 分析チーム C 保管 | 外部非公開】

信憑度：D ランク

日時：2022 年 4 月 3 日(日)未明～同日夕刻

監視対象：匿名掲示板「6ちゃんねる」

監視目的：ダークウェブ上に流出したとされる正体不明の音声フッテージ
(通称「In The Closet 1～3」)に関する情報収集

【緊急】謎の誘拐音声流出ガチでヤバいんだが Part7

134. 番組の途中ですが名無しです 2022/04/03(日) 23:32:19 ID:???

結局「Closet 音声」は例の誘拐事件の音声で確定なの？

前スレの 1～3 の 3 つで全部？

きいたやつ音声の中身時系列まとめてくれ

137. 番組の途中ですが名無しです 2022/04/03(日) 23:35:42 ID:???

女がクローゼットに閉じ込められてんのに

男の方が普通に「ただいまー」つって入ってくるのなんか怖いよな
そっからの会話はもう…吐き気するレベルでガチ犯罪だが

140. 番組の途中ですが名無しです 2022/04/03(日) 23:37:36 ID:???

>>134

バカかよ こんな絶対フェイクだわ

ダークウェブ（笑）とかもう釣る気満々だろ w

142. 番組の途中ですが名無しです 2022/04/03(日) 23:39:08 ID:???

名前呼ぶとこだけ何か不自然に切れてない？

てか前スレで出た「犯人まとめ」誰か貼って

警視庁 犯罪行動分析班 (CSJ) 内部報告資料 【非公開】

文書コード：CSJ-INT-MEMO/20220404-B3

分類：未提出・参考記録

記録者：Trace Team 捜査員 #TT-417

作成日時：2022 年 4 月 4 日 03:15 (JST)

■ 対象：音声データ 《In The Closet》 流出事案

■ 概要：SNS 経由で出現後、6ch 掲示板にて急速拡散した誘拐・監禁・性的支配に関する 3 本の音声データ

■ 現在までに解析された内容に基づく被害者別の記録および全体構造への推察

【Case.1】被害者 A (監禁 7 日目?)

- ・クローゼット内に監禁。生活音や床の反響から、住宅地の一軒家?
- ・犯人帰宅「ただいま」「寂しかった?」と語りかける、会話が自然すぎて異様
- ・粘膜部への集中責めあり。被害者は陰核を吸われ失禁。
- ・射精を飲まされ「お利口さん」と褒められる音声で終了。

備考：挿入がないのはなぜか? 性犯罪とは似て非なる行為

【Case.2】被害者 B (監禁 18 日目?)

- ・思い通りにならない被害者に目隠し拘束して、凌○・調教
- ・乳首や陰核などの敏感な箇所だけを執拗に責める異常性
- ・密着状態のまま巧みな話術で囁き続け、洗脳
- ・精液を飲ませて支配しようとするサイコパス性

備考：18 日も監禁しておきながら強姦ではない

“言葉と反応”を刷り込んでいる」ような印象。行為そのものは目的ではないのか? 強姦犯というより洗脳である└┐

記録作成日：20■年■月■日

現場捜査担当：八木俊哉・北宮琉唯・小島奈津

件名：容疑者・市原聖に関する人物評・接触履歴の聞き取り(一次資料)

● 証言者①

聞き取り日：20■年■月■日 場所：本人自宅にて

氏名：非公開(小学校時代の同級生)

性別：女性 年齢：30代 職業：主婦

——はい、幼稚園から一緒です。

聖君の事は報道で知りました。

……はい、今も全く信じられません。

何かの間違いじゃないかって思ってるんですよね。

小学校の頃からすごく頭がよくて、ピアノもとっても上手で……。

いつもニコニコしてて、先生にもすごく可愛がられてたんです。

ああ、はい。同じピアノ教室でした。

小学校3年生の時だったかな。

聖君が最優秀賞で表彰された時、帰りにお母さんたちも一緒にご飯を食べて帰ったんですけど、子供ながらにすごくドキドキしたの覚えてます。

綺麗なお母さんで羨ましかったんですよね、ずっと。

クラスメイト達もみんな言っていましたよ、聖君んち、有名でしたから。

それが……。お母さんもあんな事になってしまって。

……ああ、写真？ あるかなあ。

うちのお母さんに聞けばわかるかもしれませんが。

ちょっと電話して聞いてみます。

私、今思えば恥ずかしいけど、泣いちゃいました。
合唱コンクールの時も、聖君はピアノ係をやってくれてて
みんなを引っ張るムードメーカーだったし、とても進めやすかったです。

……うーん。私が一番に思ったのは、留置所で反抗的な態度をとったりとか、
黙秘し続けてるとか……。まるで知らない人の話を聞いているようで。
兆候があるかないかで言えば、全く無かったですよ。私にとっては。

市原聖さん 最優秀賞

全国高校生英語小論文コンクール

港区赤坂台の慶誠学園
2年、市原聖さん（17）
が、第27回全国高校生英
語小論文コンクール（The
27th Japan
High School
English Essay
Competition）で最優秀
賞を受賞した。

市原さんの受賞作「C
hanging the
Future Star
t with Us
Environmenta
l Literacy
and Local
Action」は、気候変
動に立ち向かう若者の役
割を問い直し、学校教育
における環境リテラシー
の向上と、地域主導のリ
サイクルプロジェクトの
構築を具体的に提案した。
流暢な英語表現と共に、
最新の国際データや国内
外の事例を効果的に織り
込んだ論構成が高く評価
され、審査員からは「英
語を通じて社会と向き合



最優秀賞の喜びを語る市原聖さん 校長室で（記者撮影）

う姿勢説得力があり、高
校生とは思えない完成
度」との声が寄せられた。
受賞後のインタビューで
市原さんは、「環境問題
は、私たち若者こそが行
動で示すべき課題です。
英語を通じて思いを届け
られたことが嬉しいし、
この経験を行動に変えて
いきたい」と笑顔で語っ
た。

市原さんは日頃から生
徒会活動に熱心に取り組
み、校内外での環境保護
活動にも積極的に関わっ
ており、その真摯な姿勢
は周囲からの信頼も厚い。
担任の早瀬崇教諭は「市
原君は非常に責任感が強
く、自ら考え行動できる
生徒です。彼の努力が認
められたことを教員とし
て誇りに思います」と
語っている。

最優秀賞には表彰状のほ
か、副賞として図書カー
ドと記念盾が贈られた。
今後のさらなる飛躍が期
待されている。

※出典：東日報 多摩版(2014年7月15日付朝刊) 写し提供：関係記者

●証言者④ 聞き取り日：20■年■月■日

場所：オンライン通話記録より書き起こし

氏名：非公開(大学時代の同級生)

性別：女性 年齢：30代 職業：フリーランス／デザイナー

『市原聖「聖なる怪物」疑惑の家系図と世田谷の闇を全暴露！』

備考：巻頭カラーグラビア、近隣住民の証言、母親の入院先に関する追跡報道、匿名の精神科医による分析談話などを含む構成。同誌は市原聖の“完璧な息子”像に疑問を投げかけ、「家族の狂気と沈黙」を読者に印象づけた。

誰もが羨むイケメン実業家 その裏に潜む「名門の不気味な秘密」

本誌独自取材！近隣住民が囁く『何かおかしい』あの家の真相

2022年、日本中が震撼した――。世田谷の名門豪邸に生まれ、慶誠卒の輝く経歴と眩しいルックスで『次世代の実業家』と称された市原聖(30)。その男が連続婦女誘拐の容疑で逮捕された。被害者たちは監禁され、聖の甘い言葉に『洗脳』されたと囁かれる中、警察は“突破口”となる音声データを手がかりに動いたが、いまだ物証は決定的ではない。尻尾を出さぬ冷徹さと綿密な準備で、市原は捜査を翻弄し続けている。

だが、本誌が世田谷の近隣住民を徹底取材で洗い出した“家族の全プロフィール”と“不気味な証言”が浮かび上がらせるのは、表向きは華やかな市原家に漂う『何かおかしい』空気だ。この家の秘密が、聖を『怪物』に変えたのか？

1. 「疑惑の家系図」：市原家の不気味な裏側

市原家は、世田谷の名門として知られるが、近隣では『何かおかしい』と囁かれてきた。中心は聖の父・市原正志(享年55)。慶誠アメフト部のスターから、祖父・巖(元衆議院議員、汚職で逮捕)のコネで築いた『イチハラグループ』を率いた男だ。

だが裏では、愛人囲いや薬物パーティーの噂が絶えず、「警視庁幹部の息子たちとつるんでいた」と言う声もある。

「巖さんの代から、政財界にかなり強いコネを持っていた。官僚や検察OBが当たり前のように家に入出入りしてた。何かあっても“お上”が揉み消す、ってのが地元の常識だったよ」(地元政治記者)

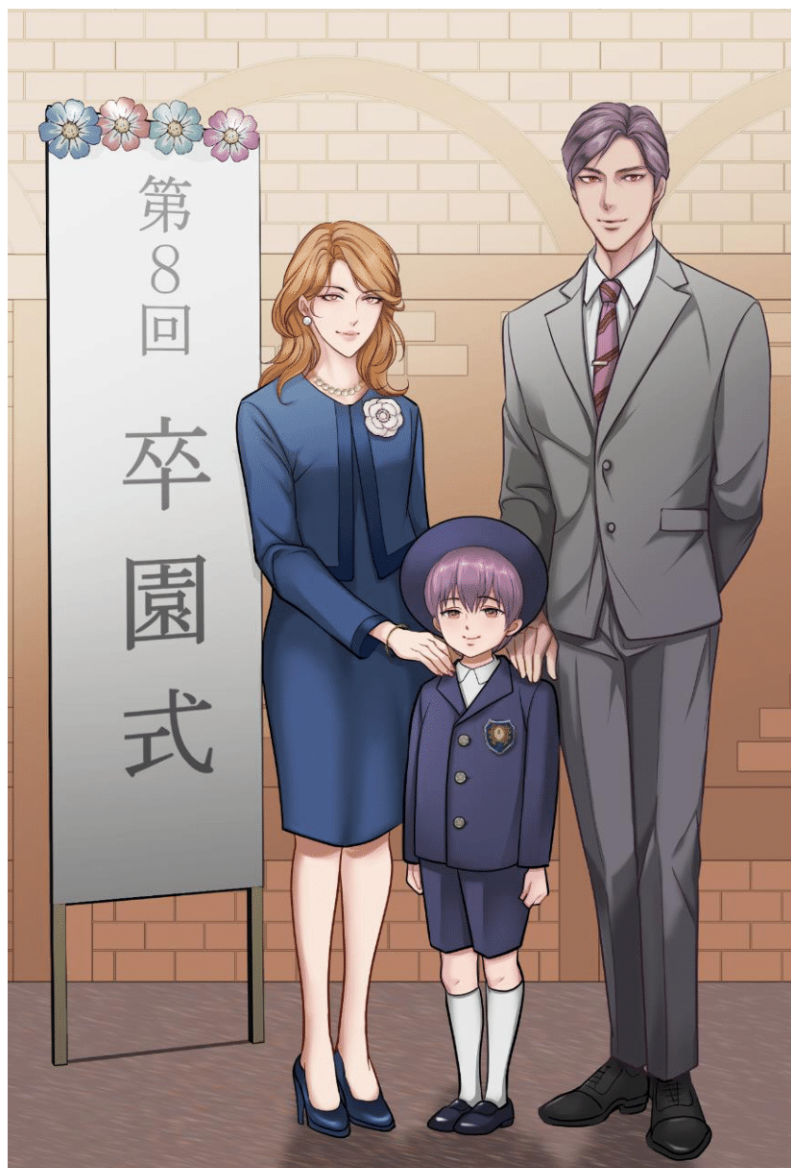
聖の母・玲子(現在精神病院に強制入院)は正志の“囲っていた愛人”の一人で、『若さと美貌』で正妻に格上げされた。祖母・静江は華道家元として「清静」を掲げながら、玲子を“愛人崩れ”と侮辱し、聖にも「家を守れ」と高圧的に接したと囁かれる。

「静江さんは聖ちゃんに厳しかった。ちょっとねえ……ありゃ、愛情のある叱り方とは違ったよね」(元店主・70代)。

母方の祖父母も奇妙だ。祖父・藤堂省三(享年80)は投資詐欺で破産し孤独死。祖母・芳乃は没落した資産家のプライドに縋り、玲子に「いい家の男と結婚しろ」と刷り込んだ。この家は、まるで『誰かを切り捨てて成り上がる』空気が染みついた、疑惑の連鎖だ。

2. 近隣が囁く「何かおかしい」一家

本誌が世田谷の近隣住民から独自取材した証言は、市原家の不気味な空気を物語る。近隣住民や出入り業者、庭師たちが語る生々しい証言から、家の“異常性”が垣間見える。「聖ちゃんは頭が良くて、いい子だったよ。でも、あの家は普通じゃなかった。」



「夜中に夜中にドンドン、ガシャン！と物音がしたり、正志さんが何かやってると思っていた」(近隣・主婦)。

「正志が赤坂で愛人を何人も囲ってたのは有名な話だよ。聖くんも巖のコネで、慶誠学苑じゃ特別扱いだったらしい。礼儀正しい子だったけど、なんだかいつも目は笑ってなかったね」(元店主)。

市原家の豪邸には、巖の死後“ガラの悪い男たち”が頻繁に出入りし、近隣は『何をやっているのかわからない家』と恐れた。

※画像：母・玲子が実母へ郵送した聖・卒園式の写真。この家族が狂い始めたのは一体いつなのか。

特別捜査本部 指揮官 各位

令和 4 年 5 月 19 日

被疑者・市原聖との初回接見に関する実施条件の要望・条件提示書

心理分析官・精神科医 ■■■■

1. 拘束の最小限化および制御役の排除について

被疑者・市原聖との初回接見において、拘束は手錠のみに留めていただきたい。また、部屋内外における制御役(監視要員)の配置は、原則として視界・聴覚範囲外(例:隣室からの一方向鏡監視または録画カメラのみ)とし、被疑者の行動範囲を制限しない距離まで離していただきたい。

2. 要望理由(心理分析的根拠)

(1)演技の抑止と“無意識の観察”のため

被疑者は極めて高い知能(WAIS-IV FSIQ: 143)と演出力を有する人物であり、PCL-R スコア 30/40 のサイコパシー的傾向が強く、明確な拘束や監視環境下では即座に「演技モード」(表面的な魅力と操作的態度)に入る可能性が高い。

一方、拘束を最小限に抑え、自由行動を許容した環境では、本人の空間支配欲や非言語的信号(ボディランゲージ、視線導線、プロキシミクス、微表情など)が自然に顕在化し、精神構造の分析材料として有効となる。

例：

部屋内のどの位置を選択し、距離をどのように詰めるか(支配欲の投影)

壁や家具への接触の有無、または操作的な利用(環境支配の傾向)

着席・立ち続ける選択、手の位置、足の運び、視線の固定・逸らし(緊張や操作意図の非言語シグナル)

これらの観察は、対象者のサイコパシー的特性(共感欠如、操作性)を定量的に評価するための不可欠なデータであり、従来の拘束下接見では得られにくい。

(2) ラポール(信頼関係)形成と“演出欲”の中和

対象者は、他者の監視意識を感じ取る鋭敏さを有し、「観衆」の存在を認識すると即座に観察者向けの演技(例: 礼儀正しく無害な好青年像)を開始する傾向が強い。三人称の存在を排除することで、「演じる自己」ではなく、「本能的な欲望を抱く個体」としての側面を引き出し、ラポール形成を促進する。これは、精神科医の臨床経験から、サイコパス傾向の被疑者に対する有効なアプローチであり、情報開示(例: 行方不明被害者の所在)の可能性を高める。

(3) “狩られる側を演じる”ことによる逆操作

本接見は、プロファイリングのための戦略的場面であり、対象者に対して「観察者(私)が支配されない存在である」という構図を明確化する必要がある。拘束を最小限に抑えることで想起される対象者の支配欲を逆手に取り、心理的優位を確立する。これは、サイコパス特有の「他者を道具化する」メカニズムを逆利用した手法であり、接見後の分析精度を向上させる。

3. 成果とリスク

本要望が実現した場合、ラポール形成により、未だ行方不明の 3 名の被害者の生存・所在情報が得られる可能性が高まる。対象者の知能と操作性を考慮した上で、心理的アプローチが有効に機能すれば、事件解決への突破口となる。

一方、リスクとして、対象者の行動予測不能性(支配欲の突発的発現)による安全面の懸念があるが、事前資料の確認と緊急制圧手段の準備により最小限に抑えられる。

接見が制約の多い環境で行われた場合、対象者の関心を失い、永続的な情報獲得機会を逸する恐れが強いため、本要望は人命救出を最優先とする合理的判断に基づくものである。

心理分析官として、責務と覚悟をもって提出する。

以上

002-PMP-PoliceConf-TKY20220531

件名：市原聖容疑者の逃亡に関する警視庁対応会見(全文)

日時：2022年5月31日(火)午後2時～／警視庁本部 記者会見室

件名：市原聖容疑者の逃亡に関する会見(全文)

主催：警視庁特別捜査本部・捜査第一課／警備部

(会見室のざわめき、足音、椅子のきしみ・フラッシュ音／激しい明滅)

司会・広報課 榎：「本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

本件につきまして、警視庁より現時点の状況説明を行います。発言者は、捜査第一課課長・滝口伸吾、および警備部副長・柊真一です。それではまず、滝口課長よりご説明申し上げます」

滝口課長：「(一同起立)……この度の件におきまして、重大な容疑者逃亡事案が発生致しましたこと、まずもって、国民の皆様ならびに関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。(一同礼)」

(フラッシュ音／激しい明滅、記者のざわめき)



警務部 広報課 記録係
主任・吉村圭吾 巡査部長 撮影



He was crowned not with glory, but with guilt.
His name, once whispered in prayer, now echoes in judgment.
Was he the monster behind the door — or the savior who bore the cost?
In the silence of the closet, truth takes its breath.
And what emerges... is for you to witness.

Monster In The Closet
-before the dawn-
Confidential Case Files
Looney's Cat